

市議会だより



市議会ホームページ

発行／喜多方市議会 編集／議会広報広聴委員会



12月定例会

子育て世帯へ現金10万円一括給付

おじゃまします市議会です 2

12月定例会審議内容 8

一般質問14名 11

請願・陳情 18

おじゃまします 市議会です

特

集

喜多方の魅力発信で 若者を呼び込む力になりたい!!

今回のおじゃまします市議会は地域おこし協力隊の皆様と意見交換をしました。



森田 正明さん
(熱塩加納町担当)

地域おこし協力隊員にな
ったきっかけは

森田 映像関係の仕事で
全国各地を訪れました
が、会津盆地越しの雪を
頂く飯豊山が強く印象に
残り、喜多方で隊員にな
りました。

吉田 大学で漆芸を学ん
でいましたが職人の手仕
事に興味があり、喜多方
の塗師さんに半年間弟子
入り。さらに学びたいと
大学を辞めて喜多方に來
ました。

齋藤 もともと漆を勉強
しており、尊敬する塗師
の方が「漆は腕に始まり
腕に終わる」とおっしゃ

っていて、それに取り組
める場所を探していたと
ころ、喜多方の地域おこ
し協力隊員の募集を見て
こちらに來ました。

伴 私は郡山出身で、首
都圏で仕事をしていまし
たが、福島県に戻りたい
と思い、東京のふるさと
回帰センターで相談する
中で、福島県の良さが雄
国竹細工の中に集約され
ていると感じることに
しました。

石島 大学進学で福島県
に來ましたが、東日本大
震災があり、いろいろな
活動をする中で喜多方を
知り、一度就職しました
が、また喜多方で働きた
いと考え、隊員になりま
した。

武藤 私は喜多方出身
で、関東などに25年ほど
住んでいましたが、喜多

方に戻りたいと考えてい
たところ、地域おこし協
力隊を知り、制度にメリ
ットも感じたので帰って
來ました。

意欲的に取組んでいるこ
とは

武藤 おしゃべりが得意
なので、民放テレビ局の
リポーターや、司会業の
仕事をしています。今後
も得意分野を活かし地域
の課題を解決する活動を
していきたいです。

石島 現在NPO法人を
立上げ、子ども達を対象
に自然体験教室、オンラ
イン学習塾等をしていま
す。学ぶことで人間が変
わり、それが地域づくり
につながることを目指し
活動しています。

伴 技術を習得して後継
者不足を解決することが
私の使命だと考えますの



吉田 真菜さん
(会津喜多方漆器商工協同組合担当)



斎藤 傑さん
(会津喜多方漆器商工協同組合担当)

で、引き続き技術習得に励みます。

斎藤 より一層技術習得に取り組むことと、退任後、工房を開くための準備に力を入れています。

吉田 いろいろな方から商品開発の声をかけて頂くことが増え、製作に取り組んでいます。また、若者にPRしたいので、自分のSNSのフォロワー三千人獲得を目標に取り組んでいます。

森田 会津弁に惚れ込み、言葉を残したいと思い、農業フェアのため会津弁のナレーションで映像を制作しました。会津弁や熱塩加納の有機農業を活用して若者を喜多方に呼び込むため活動しています。

現在の課題や悩みは
斎藤 試したいことや仕

上がっていない器が多くありますので、任期中に終えるよう速度アップがネックだと感じています。

吉田 学校給食に漆器が使われていますが、児童、保護者にその良さが伝わっていないと感じています。漆器が使われなくなるのでは、と心配しています。漆器の良さを伝えることが課題だと思います。

武藤 私はすぐく声が出るので、その特性を活かし、まずは周囲の方々が元気になるような活動をし、徐々に拡げていければと模索しています。



伴 沙也加さん
(雄国根曲り竹細工保存会担当)

石島 人口が少なくマーケットが小さい所で起業し、活動していくには工夫が必要で、難しいと身に染みて感じています。



石島 来太さん
(元高郷町担当)

伴 竹の採取から作品にするまでの技術習得すべきが課題です。私が保存会の先生方の年代になるまで果てしなく続く課題だと感じています。

森田 熱塩加納でユーチューバー講座を開催しましたが、ユチ環境がありません。若者を呼び込むにはネット環境の整備が一番重要だと考えます。

将来の展望は

武藤 喜多方初のマイクロブルワリーを作り、滞在型の観光事業を進めたいと考えています。

吉田 工房を持って独立することが目標です。SNSをやっていると一風変わった仕事が増え込んで来ることもあるので、先生方と一緒にその仕事をやりたいと思っています。

斎藤 喜多方産の材料で

漆塗りのアクセサリーやぐい呑みなどを制作しており、商品の販売を通して喜多方の良さを知ってもらう活動をしていきたいです。

森田 今、若者の間で「過疎地域」が一つのキーワードになっていると感じており、ーターンで熱塩加納の農業に若者を呼ぶ戦略を模索しています。

伴 退任後も県内に残り、保存会で修行し、お手伝いを続けていければと考えています。

石島 喜多方で働きたい、何かをしたい若者の受け皿になりたいと考えており、また、喜多方の素材を活かした商品開発や情報発信のお手伝い等クリエイティブな事業も考えています。



武藤 忍さん
(元高郷町担当)

議会に望むこと
武藤 地元に住んでいては気づかないような所へも目を配り、広い視野をもって、市民の声を市政に反映していただければと思います。

吉田 喜多方の漆畑は土地が合わず生育が悪いので、遊休農地を活用して漆を育てられる取組をお願いします。

齋藤 漆に関連する予算の有効な使い方について、話し合う場を設けて欲しいと考えます。

森田 素晴らしい熱塩加納方式の学校給食を、今後継続していくことをお願いします。

伴 移住に際し一番困ったことは、住む所の確保でした。最低限のライフラインを整備したうえで募集すべきだと思います。

石島 私も衣食住の整備や待遇の改善が必要だと考えます。

令和2年度決算認定

9月定例会で上程された決算議案について、その認定審査のために決算特別委員会を設置、令和3年10月6日から15日までの休会を除く5日間の日程で審査を行い、意見を付して本決算を認定すべきものと決定しました。審議の内容を中心にお知らせします。



11/25	10/6~15	9/16	9/2
12月定例会開会 決算特別委員長報告 本会議採決、認定	決算特別委員会 に審査 委員会採決 決算書や成果報告書、 その他必要な資料を基	決算議案上程 決算特別委員会設置(8名) 決算議案の審議を委員会付託 9月定例会閉会	9月定例会開会

決算審査のながれは？

委員長	渡部 一樹
副委員長	菊地とも子
委員	矢吹 哲哉
委員	十二村秀孝
委員	蛭川 靖弘
委員	齋藤 仁一
委員	田中 雅人
委員	伊藤 弘明

決算の状況は？

歳入総額	452億5,503万 334円
歳出総額	441億7,392万1,605円
歳入歳出差引額	10億8,110万8,729円

決算特別委員会での審査意見 (一部抜粋)

審査では、収入・支出状況、費用対効果の確認など、主として市民の利益に合致したかどうかという観点から質疑が行われ、その結果、計数的な誤り等は認められず、監査意見と同様概ね良好という意見でありました。

審査の過程において出された主な意見、要望は、大きくまとめると下記のとおりです。

- 1 社会情勢の変化を的確に捉えた事業展開を求めるとともに、各種事業の執行に際しては、市民ニーズを的確に把握し、公平性・透明性を確保し、かつ事業の優先順位を厳正に選択して一層市民サービスの向上に努めるとともに、情報開示についてはよりわかりやすく進めていただきたい。
- 2 特に、新型コロナウイルス感染症の感染拡大は、引き続き市民生活に重大な影響を及ぼしており、特段の対策が必要となっていることから、速やかな対応を講じられたい。また、今後予想される市民からの要望や新規事業についても、厳しい財政状況を踏まえつつ、費用対効果等を勘案するとともに事務事業を精査し、広く市民福祉の向上に努められたい。
- 3 審査を通じて、今後検討することとした事項については、速やかに対応されたい。



本会議での委員長報告

決算特別委員会での

Q & A

5日間にわたる審査において、81項目の請求資料を基に質疑が出されました。(※)総括質疑の一部をお知らせします。

※総括質疑とは、各所管事項の審査、質疑を踏まえ、再度確認すべき案件や政策的な事項について市長に質すものです。

決算特別委員会の総括質疑については喜多方市議会ホームページ(<http://www.city.kitakata.fukushima.jp/>)で公開しています。



総務 どうする防災行政無線の補償問題!!

問 エフエム東京との賠償について明確な範囲と金額はいつ確定するのか。

答 放送事業者であるジャパンマルチメディア放送と事業を推進してきたエフエム東京を交え、交渉を行っているところだが、相手方と市で補償対象の考え方について双方の主張に差が生じている。災害情報連携システムは市民の安全・安心な暮らしを守るための情報伝達手段であり、途切れることがあってはならない。

問 いつごろ補償額が決定するのか。

答 国の機関と一体となって早期に解決に向けて努めていきたい。



文教厚生 学校給食費の公会計化の早期導入を

問 給食費の徴収・管理が教員や学校現場の大きな負担となっているのではないかと。事務負担を改善するには公会計化に移行すべきである。

答 学校給食費の徴収管理に係る事務の流れや、教員の関わりなどについて実態調査を行った。結果、主に市職員や学校事務職員、栄養職員が業務を担っているが、一部の業務においては教員が担当していることや、事務処理の手順などが学校ごとに相違があることが明らかになった。業務の流れの統一や教員の負担を軽減するための具体的手法について、公会計の導入も含め検討を行っている。

産業建設 令和2年度主食用米の生産調整の総括は!? どうする米価下落対策!!

問 総括とともに令和3年度の米価下落対策をどうするのか。実際、一人ひとりの農家の皆さんに協力をいただかなければ生産調整はできないのではないかと。

答 平成30年産から米政策が見直されたが、令和2年産までの米の受注はほぼ均衡し、米価は安定していた。米の需給と価格の安定のためには国が責任を持って取り組むべきである。米価下落に対応した市独自の支援策は検討を進めている。

問 営農が継続できるように市として明確なメッセージが必要ではないかと。

答 あらゆる機会を捉えながら関係団体と心をつなげて、令和4年産米の作付が夢や希望を持ってできるような制度設計を含めて検討して、対応していきたい。



採決にあたっての討論

反対 コロナウイルス感染拡大の防止とその対応にもっと独自財源である財政調整基金を活用し、市独自の取り組みをすべきであったと考える。よって反対する。

賛成 令和2年度喜多方市歳入歳出決算の認定については、各常任委員会所管事項をもとに慎重に審査を重ねた結果、おおむね良好と判断したので賛成する。

子育て世帯臨時特別給付金現金10万円一括給付

12月定例会

臨時会

令和3年第9回12月定例会は11月25日から12月9日までの15日間の会期で開催されました。
また、11月9日、12月21日にそれぞれ臨時会が開催され、新型コロナウイルス対策消費喚起補助金や子育て世帯への臨時特別給付金について、議論が交わされ全会一致で可決されました。

補正予算の主な事業

新型コロナウイルス対策消費喚起補助金



【事業費】105,000千円

子育て世帯への臨時特別給付金



【事業費】695,000千円

12月定例会・臨時議会

臨時議会が開催されました 子育て世帯への臨時特別給付金10万円一括給付

○11月9日臨時会

米価下落対応緊急支援事業

・交付単価4千円（10㍓）事業費は、1億5千602万8千円
交付対象面積は、主食用米及び備蓄米の作付面積（主食用米の作付目安率により算定される面積から自家消費米相当分10㍓を控除した面積）

問 今年の米価下落は10㍓当たり3万円程度である。なぜ4千円としたのか。また、収入保険やナラシ対策もあるが実際はどうなるのか。

答 コシヒカリの60kg当たりの下落幅が2千600円、次期作のための種籾代の半額分1千400円と合わせ4千円とした。ナラシ対策加入者は、減収額の約9割が補填金として交付される。

消費喚起対策事業

・市内小売店等の利用客を対

象とした豪華賞品が当たる抽選会

年末年始のセールに合わせ実施する。事業費は、2千625万円（景品代2千万円その他625万円）

・キャッシュレス決済を活用したポイント還元（20%）

対象店舗は、市内PayPay加盟店、令和4年1月の一ヶ月間、事業費は7千875万円（還元額7千万円、その他875万円）

問 豪華賞品が当たる抽選会とは。また、ポイント還元事業を7千万円とした理由と経済効果は。

答 抽選会は、市内小売店等で3千円以上の買物をした利用客に、参加賞として500円相当の食事券をプレゼント、豪華賞品が当たる抽選会を行う事業である。また、市内PayPay加盟店での買物をした場合、20%分のポイ

ントを還元し、今後のキャッシュレス決済の普及にも繋げる事業である。

この事業で消費額を3億5千万円と見込み、その20%・7千万円とした。抽選会の経済効果と合わせ5億円近くの経済効果が期待できる。



●12月21日臨時会

子育て世帯への臨時特別給付事業・予算額6億9千500万円

・令和3年内に児童一人あたり10万円を現金で一括給付する

問 この臨時特別給付金事業は、全く歳入の見込みがない中で計上だが、国からいつ入ることになるのか。また、地方自治法の総計予算主義に鑑み、疑問であるがどうか。

答 先行給付分は12月23日に入金される。残り分については明言できない。なお、国の通知では、国の補正予算成立前に自治体による給付が行われた場合でも、事後に補助金を交付するとしている。自治体で支給後に交付金が入ってくる場合もあるので、適正な計上であると考ええる。

問 総計予算主義の原則では、一般会計における一切の収入及び支出を全ての歳入予算、歳出予算に計上しなければならぬということである。入るだろうということである。

計上した予算は、総計予算主義に反すると思うがどうか。

答 今回の臨時特別給付金事業は、当初5万円の現金給付とクーポンの2本立てであったが、国会での議論を経て現金一括給付が可能になった。

本市では現金一括給付が市民のためと考え、本日の提案とした。国において、事後に補助金を交付することになっているので、適正な執行に努めていく。



原油高騰対応生活困窮世帯緊急対策事業・予算額2千658万2千円

・給付額は、1世帯あたり5千円の灯油購入補助券を支給

・対象者は、生活保護世帯、住民税非課税世帯のうち65歳以上の高齢者のみで構成される世帯、障がい者世帯、ひとり親世帯

問 県の補助額は上限5千円で半額補助となっているが、なぜ県補助額は40万円なのか。また、社会福祉施設、養護老人ホーム、保育所や幼稚園などの施設も対象とすべきと考えるがどうか。

答 人口規模で限度額があり、本市は人口2万人以上5万人未満に該当し、補助上限額40万円となる。また、今回の原油高騰については、生活困窮者個人に対応した事業となっているので施設等への助成は考えていない。

12月定例会 議案審議・委員会の審査から

今年度のふるさと納税額の見込みは？

制度の趣旨は「自治体から医療、教育など様々な住民サービスを受け育って、進学・就職で都会に出、今度は都会で税金を納めるようになる。そこで自分の生まれ育ったふるさとに自分の意思で寄付できるようにした」制度である。

ふるさとづくり経費が追加補正されているが前年との比較は？

ふるさと納税の合計見込み額は今回4千810万4千円で計上し、年額にすると9千360万4千円を見込んでいます。ふるさと納税の昨年度実績は6千717万6千円で2千642万円ほど多く見込んでいる。

支出として業務委託料・利用料があるが、収入に対してどれ程の支出か？

手元に残る分は約50%で、寄付額は現在11月末で3千万円ほど入っている。寄付は12月に一番多く集まる状況であり、本当に多いところがこれからとなる。

寄付する側の負担が軽減される分、国や地方自治体の歳入が減るという矛盾がある点で、根本的には地方交付税の配分を地方重視に変えていくという視点が必要と考えるが？

ふるさと納税の制度に則り積極的に進めていきたい。交付税の関係については研究したい。

保育施設2事業所新設申請取り下げ問題は無いのか？

来年度開所予定をしていた3事業所のうち、2つの事業所が申請を取り下げた。

入所に支障はないのか？

申請を取り下げた所は60人の保育所と19人の小規模施設である。建設中の事業所は小規模保育施設で定員は19人。入所には影響はないものと考えている。

来年度以降の申請予定についてはどうするのか？

同じ業者からの話はないが、別の業者で今後整備をしたいという話はある。

熱塩地区のひめさゆり保育園が令和6年3月で閉園とあるが、どういうことなのか？

まだ決定ではない。熱塩加納地区で0から2歳児を受け入れる施設がなくなるので検討中である。

市当局としては、今後の施設建設についてはどのように考えているのか？

民間で新たに保育施設を建設したいという場合には、市有施設の定員を減らすことも考慮して進めていく考えであるが、現在の事業計画では明確に決定はしていない。

今後、市子ども子育て支援事業計画の中で審議し供給量を決めていくのか？

今後の保育需要見込みを含め、子ども子育て会議の中で検討していく。



今回なぜ20年分の債権を放棄するのか！

回収不可能な水道料金、約20年分の債権394件、250万4千92円を放棄する提案があった。

今回20年まとめて債権を放棄する理由は何か？

毎年行われている定期監査の口頭指導の中で、今まで回収できない料金を翌年度に繰越していくことは、水道事業の会計上よろしくないとの指摘があり、平成13年度以降の約20年分について、今年度に権利の放棄を行い、不良債権をなくして適正な会計管理を行うためである。

債権消滅の手続きについてどのようになっているのか？

破産の手続きを終了したものについては消滅債権という形で処理する。

水道の未払い金に関し、債権の時効に関する当局の考えは？

時効が過ぎても債権は消滅しないため、内容証明等の法的手段に基づきできる限り徴収努力をしている。



公営住宅の管理経費の増額補正は？

公営住宅の修全料465万7千円の補正予算が計上された。

この修繕料の内容は？

今後、退去修繕で4戸ほど、急破修繕で40か所追加の見込みでの計上である。

40か所の修繕内容は何か？

急破修繕の内容は、給水管の漏水、排水管の詰まりまた冬場になっての給湯器の故障が少し多くなっており、今後3月までの追加修繕の見込みである。

40か所の追加修繕の分は、かなり老朽化している施設と思うが、今後の全体の整備の見通しはどの様になっているのか？

令和元年度に長寿命化計画を策定し、大きな外壁や水道管の大規模改修工事等は、計画により現在進めて

おり、急破修繕の部分は各住宅個別に対応している。



▲一ノ堰団地

議会構成が変わりました

12月定例会では下記のとおり常任委員会委員等の異動がありました。



喜多方市議会副議長
小林 時夫

喜多方市議会副議長として、議長を補佐し、本市議会の最高規範である喜多方市議会基本条例に基づき、市議会の円滑な運営に努め喜多方市の発展に全力で取り組んでまいります。

議会は二代表制のもと、市民の皆様の負託に応え、住民福祉の向上、市政進展のために寄与するものであります。市政の監視、チェック機能はもとより、市民の皆様の代弁者として市民の皆様の声や意見を市政に反映できる意思決定機関として、活動して参ります。

今後は、より一層市民の皆さまの小さな声にも耳を傾け、議会活動に取り組んでまいります。



喜多方市議会議長
渡部 勇一

市議会は行財政の監視・チェック機関としての役割を十分に果たしていかなければならないと考えます。

一方、時代の流れにより市民ニーズの多様化や人口減少に伴い市政運営がより困難な時代に入り、議会にも変革が求められていると考えます。

こうした中、議員個人の考えを政策に取り入れ、議会案として実現可能なものに造り上げ、市政に反映させたいと考えております。

また、公平性・透明性の確保はもとより、少数意見を軽視することなく、議会運営に務めてまいります。

委員会

各常任委員会

本会議において議長から付託された予算や条例などの議案や、請願・陳情について、所管部局から詳しい説明を受け、専門的に審査する常設の委員会です。

総務常任委員会

委員長	田中雅人	副委員長	菊地とも子
委員	小澤誠	委員	渡部一樹
委員	五十嵐吉也	委員	伊藤弘明
委員	渡部勇一		

産業建設常任委員会

委員長	上野利一郎	副委員長	齋藤勘一郎
委員	十二村秀孝	委員	蛭川靖弘
委員	佐藤忠孝	委員	佐原正秀

喜多方地方広域市町村圏組合議員

小澤誠	上野利一郎	菊地とも子
後藤誠司	山口和男	渡部勇一

文教厚生常任委員会

委員長	山口和男	副委員長	矢吹哲哉
委員	山口文章	委員	小島雄一
委員	小林時夫	委員	齋藤仁一
委員	後藤誠司		

議会運営委員会

委員長	齋藤仁一	副委員長	蛭川靖弘
委員	矢吹哲哉	委員	小島雄一
委員	菊地とも子	委員	田中雅人
委員	伊藤弘明	委員	佐原正秀

監査委員(議会選出)

渡部一樹

喜多方市政のココが知りたい！

一般質問

一般質問は、市政全般について市の方針を質すものです。

12月定例会の一般質問は11月29日から12月2日までの4日間行われ、14名の議員が登壇し、市民の皆さんの生活にかかわる行政全般について質問をしました。

文面は各議員の自己編集とし、質問した項目のなかから1項目程度を要約して掲載しております。(すべての質問項目は、オンデマンド配信でご覧いただけます。また、開期中はインターネットで中継を配信しています。)



※各議員のQRコードをスマートフォンのバーコードリーダーで読み取ると、オンデマンド配信でご覧いただけます。

新型コロナワクチン3回目の接種は？

市長 個別接種と集団接種の併用で接種体制を構築する



山口 和男議員



問 第5波が沈静化した理由に、ワクチン接種の効用や児玉東大教授のウィルス自壊説等があるが見解を伺う。

答 明確な理由は分かっているが、ワクチンの効果や行動変化など複合的な要因があると考える。

問 3回目のワクチン接種の有効性と必要性は。また、接種方法と市民への周知、2回接種後の教訓を伺う。

答 3回目の接種は感染拡大防止、重症化予防の観点から適当であると考える。2回目接種の原則8カ月経過後に個別接種、集団接種の併用で接種体制

を構築する。接種が可能となる日の概ね1カ月前には接種券を送付する。副反応には「新型コロナウイルスワクチン接種後の症状に対する医療支援制度」により支援する。



▲集団接種会場

鳥獣害被害対策に地域おこし協力隊の活用はどうか



齋藤 仁一 議員



市長 新年度配置に向けて検討をする

問 鳥獣害被害による農地耕作を諦めた実態はどうなっているのか。

答 農業委員会として市内全域の農地、パトロールを実施し、荒廃農地や遊休農地の発生状況等を現地確認により把握している。その際、発生原因の調査はしていないが、鳥獣被害により耕作が困難となったとの情報が寄せられている。

問 中山間及び山間地域では、特にインシシによる被害が顕著である。荒廃地等の発生原因を明らかにすることは、今後の農業政策にとって重要である。農業委員会として発生原因も含めて調査すべきと考えるがどうか。

答 農業委員会の全体会などを通じて協議検討していく。なお、関係団体とも連携して検討していく。

問 鳥獣害による被害対策として、猟友会や地域再生に取り組む方々と連携活動する地域おこし協力隊活用も考えられるがどうか。

答 有害鳥獣対策を含めた地域再生と連携した活動を行っている。くには、地域おこし協力隊の活用も有効と考えられることから新年度配置に向けて検討する。

市内道路管理の状況は!

市長 画像投稿システムを活用して道路管理維持に取り組む



山口 文章 議員



▲補修作業

問 市内の公共施設、観光名所周辺の道路管理状況について伺う。

答 現在の道路管理として、公共施設、観光名所周辺に関わらず、市職員により主要幹線については、週一回道路パトロールを行い損傷個所の補修を行うほか、道路維持補修員が市内全域を巡視し、随時補修等を行っている。しかし市職員のみで全ての補修箇所の発

見は困難であるので、施設管理者や地元行政区長、画像投稿システム等により情報提供を頂き、必要な補修を行っている。

問 現在までの消防団再編の進捗状況と今後のスケジュールについて伺う。

答 本年4月から行政の内容を説明し、ご意見を伺った。それらを参考に消防団と協議を重ね、10月末まで機能別消防団配置など概ね内容がまとまった。今後については、消防団員の報酬見直しなどの処遇改善案を検討し、令和4年3月議会において条例改正案及び当初予算案を示す考えである。

頑張れ! こまがた元気会



小島 雄一 議員



市長 市民自治組織のモデルとなる様、積極的に支援する

問 現状と今後の方針を伺う。

答 こまがた元気会は令和元年7月に地区の活性化を目的に、行政区長会や関係団体の代表者などにより設立された。自分たちの地区の課題とその解決方法、将来像などをまとめた「こまがた元気ビジョン」を策定し様々な事業に取り組み始めた所である。今後、農産物の直売所の開設、蕎麦打ち技術の伝承、雄国山麓の里作りなど本格的な活動が予定されている。

答 まず、自分の地域は自分で守るという精神が重要である。事業規模に応じて集落支援制度を活用した人材の配置、地域おこし協力隊も検討する。また当面、協働のまちづくり推進事業補助制度を使って支援する。

問 駒形の次はどこを考えているか?

答 山都、高郷で研修会を実施して話し合いをしている。

問 現在、集落支援員が一人で頑張っている。事業の展開に応じて人的手に



▲こまがた元気ビジョン

当が必要である。地域おこし協力隊や地元市役所職員の活用などを考えるべきではないか?

創意工夫で成果を上げる子育て支援をどう進める!



市長 子どもの最善の利益が実現される事業の展開を図る

問 多様な主体が分野を超えて連携し、子育てを社会全体の取り組みとして進めて行くことが求められるかどうか。

答 貧困、ひとり親、障害など、様々な事情を抱えている子育て世帯が多数あることから地域全体が連携して、見守りつつ助け合う体制の構築を図っていく。

問 子どもの成長段階や問題によって、制度間の切れ目の多い子ども家庭福祉問題に、多職種連携により包括的で、問題の解決を目指すシステムづくりが重要と考えるがどうか。

答 子ども家庭総合支援拠点を整備し、子ども家庭総合支援拠点を整備し、

妊娠、出産の段階から、子どもや子育てに係る問題を関係機関と連携を行ない、切れ目のない支援体制の充実を図る。

問 病気診断や障害を特定する目的と合わせ、集団になじみにくさのある子を早期発見するための5歳児健診を実施し、対策を図ることが求められるかどうか。

答 5歳児における健診の方法や5歳児健診以降の相談体制が非常に重要であり、専門職の協力や関係機関との連携も必要であると考えており、先進事例等の情報収集と相談体制について、研究するとともに実施に向けた対策を図るよう努力していく。

佐原 正秀 議員



公約「活力ある市役所」の取組みは!?



渡部 一樹 議員



市長 「行動」と「挑戦」の施策展開を進める

問 国との人事交流は復活していただき

答 国、県等との人事交流、職員提案制度、ワーク・ライフ・バランスの推進などを通し、活力ある市役所の実現に取り組んでいます。

問 今後の施策展開の考え方は。

答 市が直面する課題や困難を乗り越えるためには、職員と市民が一丸となって「オール市民」で立ち向かっていく必要がある。人材育成基本方針に掲げる「行動」と「挑戦」というキーワードに沿った施策展開を進める。

問 4年間の取組みとその効果は。

答 たいがいは、各省と協議しているが本省との交流はハードルが高い。これまでの実績はあるので考えて実行していきたい。

問 市長は出張や要望活動で市役所を離れることも多い。職員の不祥事もあった。中堅・若手職員への励まし、現場にももう少し目を向けてあげられないか。

答 これからも積極的に交流していく。管理職を含めて対応していきたい。



CO₂ごみ大量排出対策を!



市長 国県に要望する

一般質問

問 「喜多方市カーボンスニートラル宣言」を実現するために必要な、市民・団体・地元企業などへの支援を具体的にすべきと思うが。

答 現在行っている住宅用再生可能エネルギー設備設置支援に加え、二酸化炭素排出割合が高い自動車への対策として、次年度より電気自動車の購入に対する補助を検討している。

さらに、市民・地元企業などの支援については、国のグリーン成長戦略に基づく支援の積極的な活用を促し、市独自の支援策についても検討する。

問 日本のCO₂排出量の分野別割合では、電力、鉄鋼、運輸の事業所で全体の82%を占めている。県内でも原町・広野・勿来に大きな石炭火力発電所がある。

答 CO₂排出対策に矛盾があると感じた。県や国に要望する。

排出されたCO₂ガスがその場にとどまっていることは考えられない。CO₂大量排出事業所の発生源対策を県や国に求めるべきである。

CO₂排出対策に矛盾があると感じた。県や国に要望する。

小澤 誠 議員



地域再生・子育て支援の取組の現状認識と対策は



矢吹 哲哉 議員



市長 活力ある地域づくり・子育て環境づくりを推進していく

問 まち・ひと・しごと地方創生総合戦略の取組の評価について伺う。

答 「じょう」と「ひと」の好循環による「まち」の創生による活力ある地域づくりに一定の成果を上げた。しかし、若者の転出抑制や子育て支援など引き続き取組む必要がある。

問 出生数・合計特殊出生率の目標値に対し、現状は大きく逆行しているが、現状値と認識を伺う。

答 合計特殊出生率は目標値の1.75人に対し30年度は1.40人、元年度は1.22人と計画の1.57人を下回ることから、安心して

て子育てのできる環境づくりを推進する必要がある。

問 来年度から国保税の均等割について5歳児まで一部免除が実施されるが、本市として独自に対象を拡大すべきでは。

答 総合的に検討する。

問 北塩原村など県内で給食費の全額無償化が進んでる。本市も検討すべきでは。

答 現在の半額無償化の取組・を重ね、検討していく。

問 0から2歳児の保育料無料化の実施については。

答 0歳児の入所は約3割で、3歳児以上は全員入所している。公平性から無料化は考えていない。

イノシシ被害による農地保全策は？



市長 実態を把握し、復旧工事等への支援を検討する

問 イノシシの掘り起こし被害などで畦畔が崩れるなど、営農に支障がある被害に対する市の考え方は。

答 本市において、豪雨などの自然災害により被災した農地の復旧に対する支援は行っているが、有害獣による被害に対する支援は現在行っていない。

問 有害獣による農道や水路等の被害への支援は。

答 行政区等により維持管理されている農道・水路等が破損した場合は復旧工事については、市独自の補助事業により50%の支援を行っており、有害獣による被害についても同様に支援している。

問 畦畔復旧工事や、原材料支給の支援は。

答 自然災害での復旧工事には原材料の支給支援を行っているが、有害獣被害については行っていない。しかし、近年イノシシによる農作物被害が増加している状況を踏まえ、その実態を把握し、復旧工事や原材料支給の支援についても検討していく。

上野 利一郎 議員



▲掘り返しにより被害を受けた畦畔

小田付伝統的建造物群保存地区の活用事業は



菊地 とも子 議員

教育長 人材育成と情報発信を重点に取り組んでいる



▲伝建地区

問 現在までの保存事業は。

答 令和3年度までに7件の修理事業及び2件の修景事業が行われるとともに、街路などの環境整備にも着手し、歴史的風致と調和した町並みの整備が図られている。また、防災計画策定に向けた調査も進めている。

問 人材育成の取り組みは。

答 市内建築士や、施工者等の専門性の向上を図ることを目的として、令和2年度より文化庁調査官や有識者を講師とした講習会



を継続して開催している。

問 情報発信の取り組みは。

答 伝建地区内にまちづくり担当と建築担当の2名の地域おこし協力隊を配置し、コミュニティスペースの開設や運営、町歩き講座や空き蔵等を活用したアートイベントなど、伝建地区の魅力発信が図られた。また、喜多方桐桜高校との連携による地区のPR動画の作成やキタ美実行委員会と県立テクノアカデミーや筑波大学との連携による伝統的建造物のサインプレートの作成など、様々な団体等が連携し文化財を守り、生かしていく意識の醸成が図られている。



▲小田付の町並み

今後のアスパラガス振興はどうするのか？

市長 持続的発展のため施設栽培による生産拡大を図る



問 これまでのアスパラガス振興に対する支援策についてどのように総括しているのか。

答 市ではアスパラガスを振興作物と位置付け、苗の購入やパイプハウスなどの施設化等に対する支援を行い、米依存型農業からの転換を進めてきた。こうした取組により、アスパラガス生産における施設化率は、年々向上し、規模拡大に取り組む農業者が増えてきた。今後も、引き続き良質なアスパラガスの産地として持続的に発展していけるよう、JAや県の農業普及所等と連携しながら、なお一層、施設栽培によるアスパラガスの生産

十二村 秀孝 議員



拡大を図りたい。

問 アスパラガスへの定植から2年間、売上げ分を融資できるシステムを構築することはできないか。

答 現時点でアスパラガスに特化した資金はないが、様々な資金を確認したい。

問 今後のアスパラガスの課題解決のため、市・JA・酪農学園大学で共同研究はできないか。

答 産地の維持・発展のためには有効であると考えているため今後、検討したい。



▲アスパラハウス

学校給食の熱塩加納方式への転換の進捗は？



蛭川 靖弘 議員



市長 ブレずに熱塩加納方式を市内全域に広めていく！

問 「熱塩加納方式の学校給食」を市内の小中学校へ広めていくことについて昨年3月議会で質した際に、市長は単に地産地消率を高めるだけではなく、過去に熱塩小学校、加納小学校が実施してきた様々な特徴を再現することだと答弁した。その際に私が独自に調査した「熱塩加納方式の学校給食17項目の特徴」の資料を提出しているが、それぞれの項目について進捗を伺う。

答 本市が目指す学校給食は、児童、生徒の心身の健全な発達に資するため安全で安心できる美味しい学校給食を推進することである。議員がお示しの17項目の特徴について



▲熱塩加納の学校給食

は、行政だけで実現不可能な項目もあるが、可能な限り実現に向かって努力している。概ね15項目については、目標に到達もしくは一部実現している状況である。今後は、喜多方市産農産物の利用品目数や使用重量がいずれも高い割合となつている熱塩加納学校給食共同調理場の取組を目標とし、各地区の取り組みの良さを取り入れながら、更に改善していく。



会津縦貫北道路の4車線化を実現すべき

市長 国、県に陳情していく！



伊藤 弘明 議員

問 会津縦貫北道路は喜多方市と会津若松市を結ぶ幹線道路としてその利便性を市民の皆さんは享受しているが、現在2車線であり更に4車線に整備を図り利便性を向上させるべきである。県は平成8年度に4車線で都市計画決定しており、それを踏まえて国、県へ陳情を強力に行うべきと考えるがいかがか。

答 いろいろな方法で国、県へ陳情してまいりたい。

問 会津縦貫北道路を米沢まで延伸し、東北中央道に連結させて秋田から宇都宮まで直線で結び、東日本の中央を走る重要幹線道路を実現すべきと考え

るがいかがか。

答 国が指定する重要物流道路として、整備を図ってまいりたい。

問 会津牛の振興を図る、もっと美味しい喜多方プロジェクト事業の初年度の総括と来年度の取り組みについて伺う。

答 3店舗に会津牛を提供頂けるようにお願いし2ヶ月間で600食を食べて頂いた。アンケート結果によると非常に好評だった。来年度は更に店舗数を増やし月数も増やしていきたい。会津牛の振興に努めてまいりたい。

地区集会所の水洗化・洋式化を急げ!



田中 雅人 議員



市長 整備補助金のアップを含め、検討し明示する!

問 地域の高齢化や若者定住化促進の点でも、集会所トイレの水洗化・洋式化が地域づくりに必須となっている。行政区所有トイレの現状を問う。

答 水洗化率・洋式化率については、喜多方地区は105施設の内、水洗化率が65%、洋式化率が49%、熱塩加納地区は10施設の内、水洗化・洋式化率がともに88%、塩川地区は51施設の内、水洗化率が57%、洋式化率が34%、山都地区は11施設の内、水洗化率が36%、洋式化率が27%、高郷地区は1施設で水洗化・洋式化率100%となっている。

問 資料では和式のトイレが現在94ヶ所あり改善が必要である。例えば、簡易水洗の汲み取り型でも水洗化、洋式化は安価にできるようになった。

特に行政区の集会所の場合、建設時に工事費の半額近くを集落の住民が数年間積立をし、建設費を負担したケースがあり、市は実情を理解すべきである。

またアフター・コロナ禍を踏まえ、ワクワクする喜多方市のためにもスピード感を持った集会所のトイレ整備は必須の課題であり、行政区への支援が必要である。

答 集会所整備補助金(上限80%)があるが、集会所の費用負担の在り方さらに補助率のアップも含めて総合的に判断し市民に明示していきたい。

請願・陳情



次のとおり審査されました。

請願名 提出者(敬称略)	趣旨	委員会 (賛成：反対)	本会議 (賛成：反対)
請願第13 選択的夫婦別姓制度導入の民法改正を求める意見書提出の請願 新日本婦人の会喜多方支部 支部長 辺見 律子	選択的夫婦別姓制度を導入する民法改正を行うこと。	総務常任委員会 採択 (全会一致)	採択 (19：0)
陳情第7 「令和4年度喜多方市職員募集」における障がい者雇用枠の改善に関する陳情 佐藤 晋	厚生労働省福島労働局の規定どおりに、「公正採用選考人権啓発推進員」を置くなどして、差別のない障がい者雇用体制を早急に取り入れること。	総務常任委員会 採択 (3：2)	採択 (11：8)

討論

陳情第7
「令和4年度喜多方市職員募集」における障がい者雇用枠の改善に関する陳情

反対討論

市の対応として障がいのある方の採用について、取り組んでいきたいと前向きな姿勢が見られる。しかし、陳情の後段に事なかれ主義の市行政を改めるべきとあり、一つの例により、全てを事なかれ主義とする陳情内容には賛同しかねるため、反対する。

賛成討論

2018年の法改正で障がい者の雇用について義務づけられた。よって、採用において障がい者の方へも広く募集をすべきである。本市の障がい者の雇用は他市町村よりも下回っているため、率先して障がい者を雇用していくべきであり、賛成する。

12月定例会審議結果

意見が分かれたもの

採決で賛否が分かれたものについては下記のとおりです。これ以外の案件などは、全会一致で可決されました。すべての議案名と結果は喜多方市議会ホームページをご覧ください。



議員名 議案等名		議決結果 (議決年月日等)	賛・反対	1 矢吹 哲哉	2 小澤 誠	3 山口 文章	4 上野利 孝	5 上野利 一郎	6 小澤 雄一	7 渡部 一樹	8 蛭川 靖弘	9 菊地とも 子	11 小林 時夫	13 齋藤 仁一	14 田中 雅人	15 五十 風吉也	16 齋藤 勲	17 佐藤 忠孝	18 伊藤 弘明	19 後藤 誠司	20 佐原 正秀	21 山口 和男	反対 討論	賛成 討論
議案 第113号	令和3年度喜多方市一般会計補正予算(第11号)	原案可決 (令和3年11月30日)	17:2	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	小澤 誠	上野利一郎
議案 第114号	令和3年度喜多方市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決 (令和3年11月30日)	17:2	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	小澤 誠	上野利一郎
議案 第115号	令和3年度喜多方市介護保険事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決 (令和3年11月30日)	17:2	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	小澤 誠	上野利一郎
議案 第116号	令和3年度喜多方市下水道事業会計補正予算(第3号)	原案可決 (令和3年11月30日)	17:2	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	小澤 誠	上野利一郎
議案 第117号	令和3年度喜多方市水道事業会計補正予算(第4号)	原案可決 (令和3年11月30日)	17:2	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	小澤 誠	上野利一郎
議案 第120号	喜多方市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	原案可決 (令和3年11月30日)	17:2	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	小澤 誠	上野利一郎
陳情 第7	「令和4年度喜多方市職員募集」における障がい者雇用枠の改善に関する陳情	原案可決 (令和3年12月9日)	11:8	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	伊藤弘明	矢吹哲哉

○は賛成、●は反対、－は欠席、議長（渡部勇一）は採決に加わらない。

3月定例会に行う請願・陳情について

【提出期限】 2月15日（火）午後5時まで

【提出先】 喜多方市議会事務局（市役所4階）

※期限を過ぎて提出されたものは、次回定例会での審査になりますのでご注意ください。

【請願提出に関する必要事項】

請願には必ず1人以上の市議会議員の紹介が必要になりますので、市議会議員にご相談ください。陳情の場合は紹介の必要はありません。詳しくは、議会事務局 TEL24-5253まで

長田 聡子
おさだ さとこ
教育委員会委員
（新任）
（高郷／利田）

全会一致で任命することになりました。



3月定例会の予定

日	月	火	水	木	金	土
2/20	21	22	23	24 本会議 (開会、会期決定、提案理由説明等)	25 休会 (議案調査)	26
27	28 本会議 (一般質問)	3/1 本会議 (一般質問)	2 本会議 (一般質問)	3 本会議 (一般質問)	4 本会議 (議案審議)	5
6	7 本会議 (議案審議)	8 委員会 (各常任委員会 付託案件の審査)	9 委員会 (各常任委員会 付託案件の審査)	10 休会 (事務整理)	11 休会 (事務整理)	12
13	14 休会 (事務整理)	15 本会議 (委員長報告、各案件決定、閉会)	16	17	18	19

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、当面の間、体調のすぐれない方、風邪症状がある方の傍聴はご遠慮いただきますようお願いいたします。なお、傍聴される方は、手洗い・手指の消毒とマスクの着用、入場前の検温にご協力をお願いいたします。今後の状況によっては、対応が変わることもありますので、ご了承ください。

きたかた FM
議会中継 78.2MHz

定例会の様子を録音放送しています。
開会日の翌週、平日の午後2時～午後5時は、ラジオ放送をぜひお聞きください。

議会
インターネット中継

開会中はライブ(生配信)を視聴できます。
過去の配信映像も視聴できます。



喜多方市議会公式facebookページを開設しています。
<https://www.facebook.com/kitakatashigikai/>



取材レポート 地域の宝は足元にある

(特集2・3ページをご覧ください。)

現在喜多市に來ている地域おこし協力隊の皆さんと、過去に地域おこし協力隊だった方で引き続き喜多市に住んでいる方、6名の方々にお話を伺いました。

地域おこし協力隊とは、都市地域から過疎地域等の条件不利地域に移住して、地域ブランドや地場産品の開発・販売・PR等の地域おこし支援や、農林水産業への従事、住民支援などの「地域協力活動」を行いながら、その地域への定住・定着を図る取組です。総務省が平成21年に始めた事業で、令和2年度は全国の1,000以上の自治体で5,000人以上の隊員が活躍されています。

今回取材させて頂いた隊員とOB・OGの皆さんは、喜多市の伝統工芸や農業資源を活かすための活動をされており、取材でお話を伺った際に感じたことは、それぞれの隊員の方が喜多市に元々ある資源に対して大きな魅力を感じ、情熱を持って事業にあたっているということでした。隊員の皆さんは、それぞれ個性あふれる方々で、各々が喜多市「愛」を語ってくれました。



私たち喜多市市民は、当たり前前に存在している足元にある宝物を見過ごしていたのではないのでしょうか？ そんなことを隊員の皆さんから教えていただいたように感じます。

地域活性化や地方創生という言葉が叫ばれて久しいですが、「足元の宝を掘り下げる」これこそ、本当の意味での「地方の時代」の大きなキーワードになると確信した取材でした。

背景の絵柄は「喜多市の染型（県有形民俗文化財指定）」「梅入り松、鶴」です。

編集後記

コロナ感染が新たに拡大しており、国が感染防止と医療体制の整備に総力をあげた取り組みが求められています。

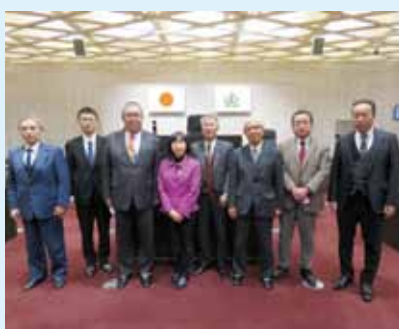
市でも、3回目のワクチン接種が2月から開始になります。

さて、今回の広報「おじゃまします」は地域おこし協力隊OB・OG、現役の方と意見交換しました。新鮮な観点で喜多市の良さを発見し奮闘している姿に、喜多市を魅力あるまちにしていきたいと改めて感じました。

寒さが厳しい毎日です。体調管理に気をつけお過ごし下さい。

矢吹 哲哉

議会広報広聴委員会



委員長 菊地とも子
副委員長 矢吹 哲哉
委員 十二村秀孝 田中 雅人
渡部 一樹 齋藤勲一郎